



“Program Update”

米国での飛行試験開始

現地時間 9/28(日本時間 9/29)、モーゼスレイクに到着した飛行試験機初号機が、10/17(同 10/18)、米国では初めてとなる飛行試験を実施しました。飛行領域や搭載機器の確認などを目的に、現地時間 13 時過ぎにグラント・カウンティ国際空港を離陸した初号機は、モーゼスレイク近隣の空域を飛行し、約 3 時間半のフライトを実施して同空港に着陸しました。リージョナルジェット最大の市場である北米での初飛行を完遂し、私たちにとって記念すべき日となりました。



“Hot Topic”

松阪工場竣工・鋳打ち式

10/3、松阪工場にて、MRJ 水平／垂直尾翼の組立開始に伴い、100 名以上の関係者が参加し、竣工・鋳打ち式を開催しました。今回鋳打ちを行ったのは、量産初号機の垂直尾翼にある構造部品です。式典には、ローンチカスタマーである全日本空輸株式会社様からもご出席いただき、ご祝辞を頂戴しました。松阪工場での部分組立後は、小牧南の最終組立工場での作業が続きます。



Message

- Aerolease Aviation, LLC -

10/11、三菱航空機本社内で実施したエアロリース社のジェップ・ソントン代表による講演会の中で、三菱航空機の社員に対するエールの言葉をいただきましたのでご紹介します。



“エアロリース社は、初号機のモーゼスレイクへの到達や、これまで三菱航空機が獲得してきた受注の一つ一つが大きなマイルストーンであると信じています。私たち、そして三菱航空機の皆さん全員が、今は成功の道を見つける過程にあり、そこには数々の挑戦があることを理解しなければなりません。自分自身を信じて前に進み続けましょう。私たちは、MRJ が最高の作品になることを確信しています。”

ワシントン州 航空業界団体から受賞

現地時間 10/6、米国ワシントン州航空業界団体、Aerospace Futures Alliance がシアトルで開催したサミットに社長の森本浩通が出席し、三菱航空機を代表して「Company of the Year Award」を受賞しました。これは、州内の雇用と経済への貢献を評価いただいたものです。式では、ワシントン州のジェイ・インズリー知事から MRJ に対する応援のお言葉をいただくなど、州内の MRJ に対する期待の高さを実感しました。



ERA 2016 / JA 2016

今年も、欧州で開催された European Regions Airline Association (ERA)に出展しました。ERA の Associate Board Member に、欧州三菱航空機社長の熊谷宜久が今回初めて選任されました。また、日本では4年に一度開催される国際航空宇宙展(JA2016)にも出展し、大盛況となりました。



JA2016の様子